

津市の地域脱炭素推進事業

津市はこれまで、地球温暖化対策のためのさまざまな取り組みを実施してきました。そして8月19日、地域の未来に責任を果たすべく「津市地域脱炭素」を宣言しました。

津市では、これまでの地球温暖化対策の取り組みに加え、今年度から地域脱炭素推進事業として、石油や石炭などの炭素由来の生活からの転換や、再生可能エネルギーやリサイクル資源の活用、森林の整備などを推進する事業を展開していきます。市民や事業者、団体の皆さんと協働して脱炭素社会の実現を目指します。

動画でチェック

津市長による
地域脱炭素
宣言



	これまでの取り組み	新たに展開する取り組み
省エネ・省資源	<ul style="list-style-type: none"> 資源循環と3Rの推進 地産地消の推進 グリーンカーテンの推進 など 	<ul style="list-style-type: none"> 資源循環に関する新技術の活用 ZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)等の推進 エネルギーの地産地消の拡大 など
再生可能エネルギーの導入	<ul style="list-style-type: none"> 新エネ補助事業による普及促進 白銀跡地へのメガソーラー誘致 西部焼却施設サーマルリサイクル バイオマス発電の推進 など 	<ul style="list-style-type: none"> 環境に配慮した再エネ設備の導入促進 イノベーションにより社会実装される再エネの活用(水素、アンモニア、メタン) 蓄電設備の導入促進 など
CO ₂ 吸収量の増加	<ul style="list-style-type: none"> 森林の整備促進 	<ul style="list-style-type: none"> 森林環境譲与税を活用した森林整備 炭素貯留を目的とした木造建築物の建築促進 事業所等から出るCO₂の利用・貯留(CCS) 木材の利用促進 など

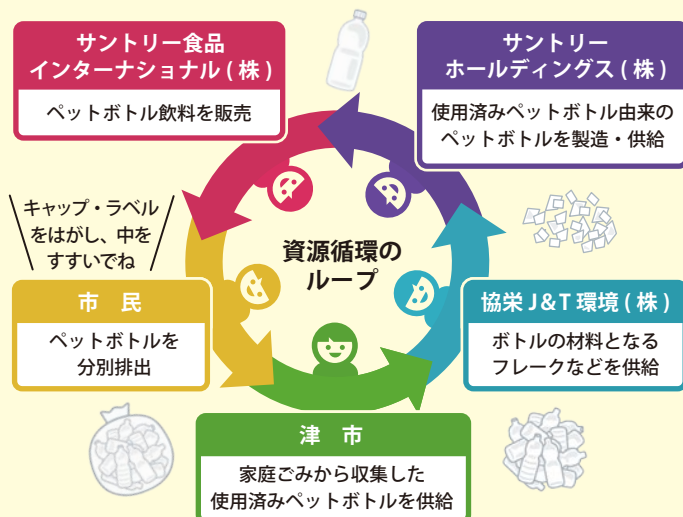
具体的なアクションによって脱炭素社会を実現していきます！

具体的なアクション#1

パートナーシップ協定による連携・協力 使用済みペットボトルを再びペットボトルとして 水平リサイクルする「ボトルtoボトル」を展開

8月19日、津市は右記の3企業と「カーボンニュートラルの実現に向けたプラスチック資源循環の推進に関するパートナーシップ協定」を締結しました。

4者による「ボトルtoボトル」で、家庭から年間で排出される使用済みペットボトル約600tが、約2,500万本のペットボトル(500ml)に生まれ変わります。これにより、原油からペットボトルを生成する場合に比べ約63%の二酸化炭素排出量の削減が見込めます。



今後も事業者などと連携し、具体的なアクションを展開していきます！